和歌山 縣民の友

發行所
和歌山市小松原通一丁目
和歌山縣祕書課
編集印刷 發行人 森 慶三
旬刊1日、11日、21日発行
定價 一部 2円50錢

通常選挙

◇この一票 わたしが 國の政治する
◇家庭から 議会へ響く この一票

縣に中小企業銀行を開設
木材の台灣輸出も見通しつく
知事会議からのおみやげ

五月八、九、十日の三日間全國知事会議に出席した小野知事は十三日朝帰り、つぎのような盛沢山の朗報をもたらした。

【中小企業対策】中小商工業者に資金融通の途を開かなければ破產する現状だから業者を救済する特別銀行の開設を和歌山にもぜひ許可されたいと銀行局長に話合つたところ経営者に適当な人があり預金が集る見通しがつけば許可する方針を明かにされたので、縣議会に諮り特別委員会を設け創立準備に着手する。縣から五千万円程度出資し、市町村、民間人および現在の銀行からも出資してもらつて資本金一億円程度の中小企業銀行を早急に設置し、大いに業者に利用してもらう。

【木材の台灣輸出問題】本縣の木材は内地消化も鈍く滞貨が相当なもので業者が不況にあえいでいるので、昔のお得意先である台灣への輸出を関係当局へ懇請したが、まだ結論は出ないが、有望で、和歌山產のスギ、ヒノキが相ついで海を渡ることになろう。

【失業対策】失業対策事業の增員方を労働省へ要望したが、目下毎日九百人が就労しているが補助金の繰り上げ交付で七月頃から五割がたの増員はみとめてもらえると思う。

【地方税法問題】今度の会議での最重要問題であつた。地方税法が臨時國会を通過しても徴收が十月からになるので七ケ月間に六億三千五百万円の徴收が非常に困難だと思う。税金の徴收するまでの財政の運営は平衡交付金一億八千万円と預金部資金四億円の借入れと補助金の前渡しでどうにかやつてゆけると思う。税務課の機構改革は税法が通過してからでは遅いので來月に入れば改革に着手する

【農林振興対策】農林金融の問題として協同組合の救済に政府が乘り出してくれるので幾分か融資されることになつている。知事側からは農中金に百億の金を出してもらうよう要望した。

【供出問題】來年四月食管法が廃止されるので、政府は今年の麦の割当から新法の線で割当てるが、いまゝでの農業指導は供出一点ばりであつたが、今後は農村経営が樂になるような指導方針でゆく。

【引揚問題】政府としても全力をあげて促進する。

(写眞は小野知事)

供出制度は來年も存続
—知事会議で森農相答弁—

全國知事会議の最終日の十日は首相官邸で午前十時より開会され知事側と林副総理以下各閣僚との懇談会が行はれ知事側より農村問題、失業対策、中小企業問題、地方税問題等の要望事項の提出が行はれたが農村問題については、

(1)國内產食糧を外國產食糧に優先させる為、保護関税を設置し輸入食糧に対する政府管理を行うと共に食糧の國内自給率の向上に努めること

(2)現行供出制度の改廃後においても農家の再生產を可能ならしめるため、食糧管理特別会計の存続米麦價格の維持をはかること

(3)本年產米麦については價格の維持に努めると共に早期供出報奨金超過供出に対する特別價格を適用すること

(4)外國食糧との競争に耐えうる農業基盤をつくる為農業金融、土地改良事業助成、農業用電力の引下げに特別措置を講ずること

(5)農協に対する金融はその健全な育成のため貯金の支拂に十分な融資を行うこと

等であつたがこれに対し政府側森農相より左の如き答弁があつた

(一)現在輸入食糧は無税だが將來國内產食糧が圧迫されるような場合は関税は是非設置せなければならぬと考えている

(一)食確法は明年三月廃止されるが政府としてはまだ完全な自由にすることは出來ないと考えるので二十六年度より改善存続させたい新制度は本年秋まき(九月)麦から適用する考えである

本年產米の單作地帯への対策としての早期供出報奨金、超過供出特別價格は続けるつもりだが特別價格を基本價格の何倍にするかはまだ決定していない

(一)農協への應急金融は單位組合十億円縣連七十億円その他事業資金合せて百億円を至急必要とするが農林中金は六月迄融資する見込であるなお農業資電產引受けに約八十億円が必要とされているが別途に考慮中であり恒久措置としては今年中に農林中金より約百六十億円融資できる見込である

(一)土地改良費を見返資金から融資することは困難だが昨年度要請あつた五億二千万円だけは第一四半期に解決したいと思つている

自覺と認識ある投票を

この一票 棄てまい 賣るまい 汚すまい

時評 自覺と認識ある選挙民

民主的國民においては政府の權威は民衆の意志の裡にある。併し総ての人々は政治問題に專らその時間を用いることは出來ない、そこで、民衆は自分に代つて政治を執る村長、市長、府縣知事、市会議員、國会議員等の代表者を選出するのであつて今回の參議院議員の選挙もその線にそつて行われるのである。これらの代表者は人民の支援と協力によつて学校を設立し道路や堰堤を築き病氣や火災や犯罪を予防し產業の発達を図るのである。從つて、これらの代表者は民衆の意志あるところ卽ち輿論によつて知らなければならない。また、これらの代表者となろうとする者は、この民衆の意図するところを知りそれを具現するだけの熱意と実践力の保持者でなければならないのである。

選挙戰における候補者の爲すべきことは、その選挙民の輿論を如何ように把握しているか、またそれが実現の実際的方策はどのようなものであるかを開陳して、選挙民の支持を受けるのでなければならない。それを私情、金力等によつて獲得しようと考えている者があるとすれば、誤れるも甚しいものであり、その人に投票した選挙民は如何なる悪政を行われても文句なく忍從しなければならないであろう。

然しながら、候補者の中にはやゝもすると、その内心はどうあろうとも、民衆に呼びかけるにあたつて己れの政見なり抱負なりを列べて、如何にも自分は、輿論を聴き民意を洞察し、その具現者として最適任者であるごとく強調し、宣傳に努めるのである。そのために一般投票者は困惑混乱され、從つて判断の良識を失つて誤つた人を支持することがある。冷靜に狀勢を判断し、是非を判別することの出來る人々が「自覺と認識ある選挙民」である。理想的な民主政体を築くためには選挙に参加する総ての人々が「自覺と認識ある選挙民」であらねばならない。

巧妙な宣傳の方法にはいろ〳〵あるが、その一例を示せば、第一に対手を排除する爲保守反動家、右翼、左翼、赤等の悪名を以つてこれを呼び大衆の敵意をかきたて、第二の方法はその反対で、己れの主義を美しく飾り、眞理、自由、正義、民主々義といつた樣な高尚な言葉で狐狼の本心を包むことである。第三には轉換法を用い、民衆の称讃しているような事から説き出し、その計画または民衆が支援しようとする個人の名を結びつけ、第四は、都合のよい印象を與える記事や絵を印刷し、第五は眞実と虚僞を結び合せ、本当の事から始めて人々の信用を獲得することである。このように、あの手この手と変えて民衆を僞瞞しようと試みる者無しとしないのである。

選挙民は、候補者の言論を聴き、その経歴を見、過去の行蹟を検討することによつてその眞僞を識別することが出來るであろう。自覺と認識ある選挙民の投ずる一票によつて民主政治が行われ、新日本の再建が可能になることを、断言することが出來るのである。

結核予防週間

國民病をなくそう
ツ反應、B.C.G接種は25日から

結核療法が漸く晴を迎えた、結核撲滅五ケ年計画第二年の意義と國民死因統計上の結核の位置並びにツベルクリン反應、B・C・Gによる予防、レントゲンによる早期発見と早期治療、人工氣胸術、新藥等による新療法の普及特に集團検診の必要性を強調するため厚生省の方針に從い、本縣独自の計画を大々的に加味して、來る二十五日から三十一日まで結核予防運動を展開する

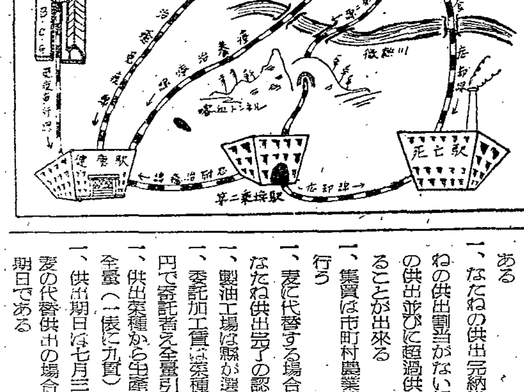
週間中ラジオ、新聞、街頭アナウンス、ポーリー宣傳、ポスターリーフレットによる他予防思想知識普及の移動展による縣下巡回を企図し、集團間接撮影を各保健所毎に実施し受検者に早期治療を中心としたリーフレットを配布するなど、又各学校、工場、事業場等を中心にツベルクリン反應及びB・C・G接種を一斉に実施することになつた

必ず撲滅出來る
なくする爲に早期の治療
結核

日本には現在推定百五十万人の結核患者がおり、年間約十五万の人々が結核のために倒れてゆく、そして幾多の悲劇が繰返されている。その結核死亡も近年漸く減少の傾向にあるとはいえ総死亡に対する結核死亡の割合は依然高率であり死因中の第一位を占めていることに注目すべきである。

併し結核は必ず撲滅出來る。即ち戰争以來の悪條件にかかわらず戰時中以來の一貫した結核対策が最近のわが國の青少年の結核死亡を半減したこと、又外國の例をとると一九〇〇年の米國の結核死亡率一九・四、英國の一九・〇、デンマークの二一・〇が五十年後の今日夫々三・二、五・四、三・〇と見事結核撲滅の成果を收めているという事実が証明している。われわれは彼等の國民的努力に深く学ばねばならない。

わが國の結核死亡率を比較すると一九〇〇年一六・〇、昨年一六・八という狀態である。同じ人間であり世界最高の結核の学問をもつわれわれにもこの問題は決して不可能なことではないはずである



発病防止に
ツ反應実施

結核をなくするためになすべきことは自らの健康は自らの手で守ること、それには第一に発病の防止早期治療の外に道はない。発病防止のためには感染防止は最も確実な理想的な手段であるが現代の現實の文化生活の中では不可能なことであるから、われわれは一度結核に感染した上で結核との勝負をせねばならない。從つて発病防止のためには、ツベルクリン反應（以下ツ反應と称す）によつて結核感染の有無を確めることから始めねばならない。ツ反應陽性というのは結核に感染した証拠であるが、病氣だとはきまつていない。病氣かどうかはが

X線検査が

敎えてくれる。われわれのほとんどすべてが四〇歳位までの間に結核に感染するが発病するのは極く少数で、結核の運命は感染後一年位の間に決つてしまうから、その一年間無理を避けて大過なく済ますと、感染病竈は治つて発病せず強力な免疫を得ることによつてあとから再感染で発病することもない。いままでツ反應陰性であつたのが始めて陽性になつた場合（陽轉）は最近感染したのであり一ケ年は無理をせずその間時々X線検査をうけて発病に注意する必要がある。そして陽轉時ツ反應が強く現れた人に発病者が比較的多いということから、強反應で陽轉した人はとくに注意せねばならない。

ツ反應陰性の人は結核菌の洗禮を受けていない健康体であるといえるが、結核恐るに足らずとはいえない。將來重い感染によつて発病の恐れがないとは限らない所。がBCGを接種して常にある程度の免疫をもたせておくと（接種すると後日ツ反應が陽性になるが陽性になるまでは免疫がないから患者に近ずくのは危險である）いつか結核菌が侵入しても発病せずに免疫だけが残る。

併しBCGによる免疫は半年か一年位しか続かないし、その免疫がなくなるとツ反應も陰性になるので出來れば半年か一年程後ツ反應を調べて陰性であれば又BCGをする。そしていつか本当の結核菌に感染するまでそれを繰返さねばならない。もし不幸にして発病が解つたとしても悲観する必要はない。早期に発見して早期に治療すれば必ず治るのであるから。所が結核は厄介なことには自分では解らない病氣である。結核の初期あるいは相当進んでいても全然苦痛もなければ喀痰、喀血、微熱等の自覚もないことが多い。又医者が聴打診をしてもそれだけでは所見がないことが多い。ために結核の初期は見逃しやすいのである。ひどくなつて空洞が出來てしまうと治療はむつかしくなる。

早期発見 人工氣胸

だからこそ早期発見と人工氣胸による早期の正しい治療が必要とされる。それには必ずツ反應とX線検査の手を借らねばならないのである。以上のような理由で結核をなくすためにツ反應、X線検査（時には喀痰検査）による定期的健康診断とBCG接種が欠くべからざるものというのである。

自らの健康は自らの手で。結核をなくするために一人一人がこの氣持をそのまゝ結核撲滅に協力するときに始めて明るく健康的な社会、生活がわれわれの前に訪れるであろう。そして又更によりよき対策も生れてくることであろう。

遊泳場の取締
五月縣議会へ

プール、海水浴場等における危険防止あるいは公衆衛生上の取締り規則は終戰後なくなり空白となつている縣ではシーズンを控えて遊泳場取締條例を制定して來る五月縣議会に提案することになつた。

その設備には危險、救護及び清潔その他水泳者の衛生及び、風紀に必要な措置や、水泳者に対しても水泳場において水そう内を著しく不潔にしたり、公衆衛生上不適当なものは禁止をすると共に、水泳場の開設者は知事の許可を受けることになつている、

今年は一、三二〇石の供出
なたね 完納後は麦の代替もOK

五月十二日縣廳会議室で、本年產なたね割当協議会が開かれ、各地方事務所から関係者が集り、なたね供出割当数量及び取扱要領の説明があつた。これによると

本縣のなたねの作付面積は二五〇町歩で、反收は平均〇・七六一石、全收量は一、九〇四石である。この内約三割、五九三石が保有とされ、供出量は一、三二〇石である

なたねの取扱要領としては

一、供出割当数量は事前割当数量から保有数量を控除したものである
一、なたねの供出完納後又はなたねの供出割当がない場合は、麦の供出並びに超過供出に代替することが出來る
一、集買は市町村農業協同組合が行う
一、麦に代替する場合は検査官のなたね供出完了の認証が要る
一、製油工場は縣が選定する
一、委託加工賃は菜種一俵二九一円で寄託者え全量引き渡す
一、供出菜種から生產される粕の全量（一俵に九貫）は還元する
一、供出期日は七月三十一日で、麦の代替供出の場合供出は麦の期日である

南信 北信

▲むせる樣な蜜柑の花の薫りの中に參議院議員選挙戰がいよ〳〵白熱的に展開▲本縣ではたつた一つの金的を狙い地方区候補者四人何れ劣らぬ豪の者祕術を盡し必死の爭奪▲我等選挙民此の期に際して少しも騒がず靜かに祖國再建と參議院本來の職能とに考え、最もふさわしい人材を指名しなければならぬ。▲選挙は水物、予断は許さぬ。▲街を歩いていても家に座つていてもラウドスピーカーの怒号に耳を聾し、鈍感南北子と雖此頃聊かコメカミがうずく。▲加えてこれまで聞いた事もない全國參議員の賣出し宣傳もあり、事によると此のあと國民の半分位は神経衰弱で倒れはしないかと心配に堪えぬ。▲曾つて三合配給を口約した人物を挙げたが其後一向增配された覺えはなく減税を力說した議員を選んだが一向骨を折つた話も聞かぬ。▲好辞必しもマに受られず、耐乏忍苦を說いた者に眞の憂國の志士を発見した例も多い。▲勿論人物の大小はスピーカーの声量には比例せず有名人必しも適任と即断は出來ぬ▲雄弁は銀であるにしても訥弁必しも金とは限らず、殊に選挙資金の豊富は闇稼の蓄積かもしれず、貧乏候補は清廉高士の一証とも取れる場合もある。▲むづかしいのは此の間の賢明なる判断。▲この一票でわたしが國の政治をするのだ▲眞に貴い我等の權利のチャンスだ。是非悔なき投票をしよう。▲此際棄權は日本再建に対する最大の冒瀆だと考えたい。（M）

必要な農業企業化

農務課長 木下正雄

轉換期の農業政策 ①

戰時中から現在まで、永い間わが國農業政策の根本であつた食糧管理制度も、最近における食糧事情の好轉から大きな轉換を図るべき時期に達しており、目下政府において具体的に研究されているが、これが根本は生産者たる農業者の利益を充分考慮に入れて決定されなければならないことはいうまでもない。

農業政策とはいうまでもなく農業者の利益を擁護するためにとるべき手段であり、若し農業者が他の商工業者と平等の立場に立ち國民経済の中にあつて、農産物がその價値通り賣却が出來る一方必需品として購入する生活用品なり農産用品なりが、これまた價値通り購入出來得るものとすれば即ち國民経済の中で均衡のとれた受取勘定が営まれるものとすれば農業政策の必要度は極めて薄くなるわけである。

現在までの農業者は低米價の價格体系下においてはわずかにヤミ需要に應えることによつてからくも收支のバランスをとつて來たのであつたが、最近における主要食糧の下落によるヤミ收入の減少、果実、蔬菜類の暴落による收入減によつて、收支のバランスが著しく失調することになつた。

かような現状においては、農業者はその他の産業従事者と同様な生活程度を維持出來ないのは勿論であつて、この生活水準を他の産業従事者と同程度に引上ぐるためには、農業を企業として採算のとり得るものにする必要があり、これがために農業政策の緊要性と重大性がある。

農家への税金の還元が問題

今農業政策として重要な点を考えて見ると、先づ第一に農村課税の問題がある。

今農村をまわつて見ると「税金は農家の命取りだ」とまで極論するものがあるが、農家にそれ程恐れられている税金がそれ程過重なものであろうか？

先づ國税の増徴振りを見ると、昭和十年に國税総額十二億円であつたものが、昨二十四年度においては六千三百五十四億円で實に五二八倍の増徴である。

また縣税について見ると、昭和十年の税收入額三百四十二万円に對して、昭和二十四年度の税收見込額は七億一千六十二万円で二〇七倍強となつている。

この税額の増加に比例して國民の所得が増加しておれば問題がないのであるが、農家の所得の増加が税の増額に比してはるかに緩まんであると見られるからである。

即ち農家所得の大部分を占める米價について見ると、昭和十年ごろの米價（昭和九、一〇、一一年の三ケ年平均基準米價）は石当り二十七円十六錢で昨年度の米價は四千二百五十円であつたから、増加率はわずかに百五十七倍に過ぎない。これを前記の税額の増徴率に比すれば農家の生活が確かに樂でないことが判明するであろう。

もつとも本年度よりはシヤウプ勧告による税制改革の結果は所得税において著しい減少となつているが、第七國会では審議未了になつたが地方税（附加價値税、住民税）において大幅の増徴になつており、しかも從來の所得税がその課税の標準となる所得の把握率が約七〇％程度であつたものが、今年から一〇〇％近く適確に把握課税されるものとするならば、國税地方税を通じて左程軽減されないであろうと見るのが適当ではあるまいか。

しかも我々の農村課税問題に対する関心はその徴收面のみならず配分面にも向けなければならない即ち、

國家が、あるいは地方自治團体が税として徴收したものを補助金とか調整金とかでいかに産業間に再分配するかの問題である昭和二十三年度における全國農業者の所得税として納めたものが三百五十億円であるのに、農業関係の公共事業費として還元されたものが百三十億円となつており、租税再分配の面では農業者が非常に不利な実状におかれていると言えよう

終戰直後徹底的に破壊された日本産業の復興のためには、戰争被害の比較的少なかつた農村が大きな犠牲を拂うべきことは当然のことであつたと思うけれども、しかし情勢は一変した。最近の農家経済のひつ迫の状況からして、農業者だけに過重な負担をせしむることは甚だ妥当をかくわけであつて、租税並びに再配分の面で充分均衡のとれたものにすることが最も大切な問題である。（続）

消えてなくなる 結核による損失は莫大 八億九千万円

結核が國民経済に及ぼす損失としては、結核患者の治療療養費、結核にかゝつたため生産能力が低下する事に伴う経済的損失及び結核患者がいるため家族の生産能力が低下する事に伴う損失が考えられる、今本縣の昭和二十四年の結核死亡届一、四三二名について経済的損失を総計すれば年間約八億九千万円に上ることになる

（１）治療療養費の年間損失

結核に罹患して先づ必要な経費は治療を受け且つ療養を行う経費である、昭和二十四年度結核総死亡数は一、四三二名であり患者はほぼその十倍と推定されるが、患者を（一）療養をしている者（二）休養をしている者（三）治療を受けずに就業している者の三種類に分類し、夫々の人數及び必要と考えられる治療療養費を計算すると結核患者一人当りの平均治療療養費は二九、九三〇円となり、從つて結核による治療療養費の年間損失の総額はほぼ四億二千六十万円に上ることになる

（算出基礎）

結核死亡数 一、四三二名
推定患者数 一〇倍

分類	全患者数に対する比率	一人当り一日の医療々養費	一人当り一年の医療々養費
療養者	二〇％	一二〇円	四三、八五〇円
休養者	三〇％	一〇〇円	三六、五〇〇円
受医療就業者	三〇％	八〇円	二九、二〇〇円
無医療就業者	二〇％	二〇円	七、三〇〇円
平均医療療養費（一年当り一人）			二九、九三〇円

年間損失1,422人×10×29,930円=420,604,600円

（２）罹患中生産能力低下による年間損失

結核に罹患するとその病状の程度により患者の生産能力の低下を來たす、療養を行い、又は休養を要する場合は全く働けないが、治療を受けつゝ働いている者も少くない、この点を考慮して患者一人当りの平均生産能力の低下率を計算すると健康人の六一％となる平均年間一人当りの生産額は六三、四〇〇円と見積られるので結核に罹患中生産能力低下による年間損失は約四六、五二九万円に上る

又患者を看護するため家族が煩わされ、その生産能力が低下することは当然であるが、看護を要する患者を療養者の四分の一とし、且つ一人の患者につき平均一人の手を要するものと考えるときはその看護に因る家族の生産能力の低下に伴う年間損失は約四四四万円に上る

（算出基礎）

A、本人の生産能力低下による年間損失

一五歳―五九歳の結核死亡数 一、二〇三人
推定患者数 死亡者の一〇倍

患者の分類	全患者数に対する比率	結核罹患による生産能力低下率
療養者	二〇％	一〇〇％
休養者	三〇％	一〇〇％
受治療就業者	三〇％	三〇％
無治療就業者	二〇％	一〇％

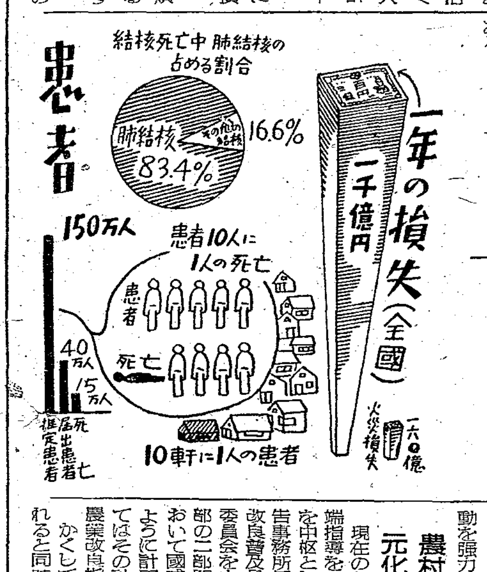
平均生産能力低下率 六一％
平均年間一人当り生産率 六三、四〇〇円
年間損失
1,203人×10倍×61%×63,400円=465,248,220円

B、看護による家族の生産能力低下に伴う年間損失

結核死亡数 一、四三二名
推定患者数 一〇倍
要看護患者 療養者の四分の一
平均一人当り生産額 六三、四〇〇円
年間損失
1,422名×10倍×20%×0.25×63,400円=4,443,400円

（３）經済的損失の総計

（１）及び（２）に説明した損失の合計となる、即ち医療療養費総計と生産能力低下による損失及び家族の生産能力低下の損失合計約八億九千万円となるが、その外結核による経済的損失として結核死亡による生産能力の年間損失と若し生存していた時はなおこの程度を生産することが出來るほか、尊い生命を打切られることを考えなければならない、結核は経済的にも是非撲滅の要が大きなわけである



農業災害補償法 一部を改正

共済事故に虫、鳥、獣の害も

農業災害補償法は実施以來幾度か改正して家畜共済の義務加入制となり第二類共済事業（任意共済）を実施して農家の建物その他の農作物及び農産物又は、家畜の輸送中における障害を保障して農業経営の安定を図ることに努めているが更に第七國会でこの法律の一部を改正して制度の強化を計ることゝなり本年の四月一日から実施することゝなつたこれは農業災害補償法第八十二條を改めて從來農林大臣によつて監督を受けていた農業共済組合連合会が都道府縣知事にも監督されることゝなつた。これはこの制度の強化拡充によつて政府と地方の密接な連絡協調の下に制度の運用に当ることが一層必要となつたゝめに次の権限が知事に與えられた

一、連合会の業務財産の状況報告を徴すること

二、連合会の業務会計の状況検査をすること

三、第八十條第一項（会計検査）の規定による違反行爲取消等の命令をすること

更に農業災害補償制度に虫害及び鳥獣害を共済事故として取入れることは農家多年の要望であつたが第八十二條と共に第八十四條を改めてこの虫鳥獣害が対象となつた訳でこれによつて基準共済掛金率は若干上つて農家負担も増加する訳だが今後における損害評價は從來のように分割評價に悩まされる点は少なくなつた。なおこうした補償の増加の反面病虫害等の災害防止対策も徹底を期する必要があり市町村農業共済組合における今後の使命は益々重大となつた訳である

農業恐慌打開に努力

農調委書記連で強力に推進

連盟の活動強化

現下食糧事情の変化に伴い農村恐慌はその深刻の度を加えつゝある時、農業調整委員会書記が中心となつて末端における是等の恐慌打開に努力する爲各種團体と相連携し縣下は勿論近畿府縣並に全國の盟友を密にし廣く意見を交換して農業を益々維持発展せしめる活動を強力に推進する

農村指導機関の一元化

現在の如く複雑多岐にわたる末端指導を一元化し農業調整委員会を中枢とした農業計画部と作物報告事務所係官、食糧檢査官、農業改良普及員、農業共済組合、農地委員会を中枢とする農業技術指導部の二部門を設置し農業計画部において國或は縣の需給に適應するように計画をし技術指導部においてはその計画達成の爲の技術指導農業改良指導をなすべきである

かくして農村の負担は軽減せられると同時に末端指導の徹底をも期し得られるのであつて書記連盟は各種の團体に呼びかけこの實現に努力する

農業調整委員会書記の身分証明

農業調整委員会書記は実質において市町村の事務を実施している現状であり、その結果大部分の書記は市町村吏員としての身分を獲得しているのであるが、市町村によつて特別の事情もあると思うがまだ市町村の吏員の身分を與えられていない者があるわけであつて盟友相互の連携に依り速かに吏員としてもらう様努力をする

調査研究活動の強化

客観情勢の変化の中で動揺しつつある農村経済の安定経営の合理化を図るため農家経済、経営形態の実情を把握し農業恐慌に対処する基礎的調査研究を実施する

特に農業調整事務の円滑を計るため隣接町村との均衡を図る必要があり隣接町村における書記相互の資料を交換する活動を行う

【写眞】試驗場のホープ黒潮丸

縣の試驗場めぐり

躍進途上の水産試驗場

若葉の五月とはいえ、こゝ田辺の浜はカンカン照り、さながら眞夏を思出させる。一日、奥已浮沈幾多の歴史を経て昨年四月小野知事の英断により再発足した縣水産試驗場を訪ねた。田辺市元町の海岸埋立地に存在する同場は風光明媚、田辺湾を一望に收め敷地坪数二、六〇〇余坪、建坪数四五〇坪のすばらしい環境に恵まれ新興の意氣にあふれている。こゝにかつての祕書課調査係長向井氏が活躍されている。探訪をこの上もなく喜んでくれ、「赴任当時は蜘蛛の巣が張つて、雨漏りに荒れはてた空虚な廳舍で呆然としたものですよ、しかし本当の仕事はこれからです。漁民のため本縣水産の推進力として大いに活躍する様全員はりきつていますよ」と潮焼けした顔で語つた。間もなく西川場長に紹介され向井主任の二人に種々聞いた同場の大要について略述しよう

一、職員について

職員は場長以下二十四名、黒潮丸の臨時乗組員が十五名〆の計四十名で、單独の調査船も本月中に就航出來る予定でこれに製造工場関係の人夫を含めて來月からは五十名前後の陣容になる予定

二、事業概要について

同場事務を庶務係、調査係、漁撈係、製造係、増殖係、無電係の六分野に分掌している

◇庶務係

一般庶務会計の他に講習及び講和の計画実施

◇調査係

調査船による海洋調査、漁況調査、定置觀測、沿岸漁業資源調査等を行い水産業の科学的発展の基礎たらしめているが、來月からは單独調査船取得により加太から熊野灘までを本格的な調査を実施

◇漁撈係

業者の要望に應じて漁具の改良試驗、漁群の電波探知、季節毎の鰹、秋刀魚、鯖、深海鮫などを調査して、漁業の振興に努めている。今は鰹季節であり毎日黒潮丸（三〇トン）で鰹の群を追つて活躍している。

◇製造係

新設なつた加工場（九〇坪）では冷凍、冷藏、罐詰、採油練製、製草の諸機械が完備され、六月早々操業だとのこと。今後こゝから新しい加工サンプルがどしどし造られ業界のよき指針となるだろう。同係では「特に藥用肝油、ビタミンＡ Ｄなどは既にバイヤーからも紹介あり最も有望な而も新しい水産加工品となるでしよう」と語つていた。

◇増殖係

こゝでは主として眞珠、海苔かきの調査を行つており、眞珠は田辺湾に、かきは田辺、太地、由良湾などで海苔は和歌浦のりの改良に力こぶを入れている。

◇無電係

無電通信連絡により海況漁況の蒐集、業者への漁況速報、氣象放送等を行つており、漁船の賴りの綱とされている。

以上が大体同場の概要であるが漁区が拡大され遠洋漁業の主である本縣としては試驗場の活躍に期待される所甚だ大で指導船も鋼鉄二五トン級船が是非必要となつてくるわけである。

梅雨時の衛生

手近な日光消毒から（続）

夏季に於て最も腐り易い食物は天ぷら、油揚げ、生揚げ、精進あげの如き油氣の強い物である。其等の表面は油の爲めに特にバイ菌が繁殖し易い状態にあるから一見香ひも味も変らないで併も表面丈が腐敗している事がある。ソツプや吸物類も煮立てゝないと危險である。細菌学研究で細菌を培養する液はソツプと同種類の物を用うるのを見ても、如何にバイ菌が繁殖し易いかが解る。一体塩氣や砂糖氣を沢山用ひた物は腐り易くない物であるが、砂糖と豆類を用ひた物即ちアン類、煮小豆、きんとんの如きは非常に腐り易い物であるから出來上つてから時の経つたものは、余程注意して食用しないといけない。

前にも説明した如く梅雨季は平生乾燥して居る処すらも、濕つて黴が生える位であるから、家の中は天氣の好い日には出來るだけ風通しを良くし、濕り易い処はなるべく乾かすようにし、衣服寢具も垢染ると濕るから常に清潔に保ち晴天毎に日光に曝さねばならない。黴やバイ菌は毎日三時間づゝ三日も日光に直射すれば死滅して了ふ。其他病毒の媒介者である、のみ、蚊、蠅も最も此時期に殖え易いから天井裏、疊下、床下、下水等を清潔に保たなければならないだから戰時中は梅雨後実地していた大掃除も、昨年より梅雨前の四月と梅雨後の二回実施しているのである（環境衛生週間）

元より絶対にバイ菌を食物に付かぬやうにすることは不可能であるから、吾々は一方に於て前述の如き注意をすると同時に、梅雨中は不足に陷り易い運動を励行し、成る可く入浴を多くして心身の爽快を許り、抵抗力の減退を防いで何時バイ菌の侵入があつても天然力で防げる程になつて居なければならぬ。

若し不幸にして一旦胃腸を冒されたならば、胃にある内なら上に吐き出し、腸に行つて居れば浣腸をかけて、早く悪い内容物を出して了ふのがよい、腸中に残つて居る間は痛みがあつたり、また発熱する場合もあるが、何れにしても腸中の物が出て了へば自然と癒つて了う、下痢に驚いて止め藥を用うるのは最も悪い。惡水の流れる下水を塞ぐやうなもので、益々腐敗は甚だしく苦痛は増すばかりである。癒らぬ間は成る可く食を取らず、烈しい時には絶対に食を断つて、胃腸の負担を減じてやると、恢復が早い

科学化、専門化を圖る 民生部予算

現任制度に力こぶ

民生部に於ては本年度各課共通の重要新規事業としてとりあげた問題は社会事業従事者即ち縣市町村民生吏員、施設長、民生、童委員等に対する現任訓練の問題である。現任訓練（インサービストレイニング）とは夫々現在の職務に従事しつゝある者に対し訓練をすることであつて、これによつて責任態勢の確立、従事する仕事に対する知識技術の向上、能率の増進関係各機関との連絡提携の緊密化を図り以て民生事業の科学化、専門化の徹底を図り、民生事業の発展進歩を致さしめようとするものである。現任訓練はその対象を誰におくかによつて方法も異るのであるが市町村民生吏員の場合について考えると

福井民生部長

1、責任及権利の限界を明確ならしむること
2、講習会、会議、研究会等を通じて知識技術を向上すること
3、事務必携（マニユアル）を作製しこれを教科書として事務の拠り所を明確にすること
4、査察制度、事務監査を通じて訓練すること
5、文書による指導をなすこと

などが考えられる。

この現任訓練の実施が民生部本年度の最も力を入れる点である。

これに要する経費として各課合計で約一二〇万円が計上されているこの現任訓練計画を樹立するため縣に委員会を設け民生部各課長、和歌山市厚生課長、海草地方事務所民生課長、那賀郡北野上村厚生吏員を以て権威員とし、民生部長を委員長としてつくられている。各課に共通する重要ポイントは以上の現任訓練であるが更に各課別によるその他の予算の概況を見ると次の通りである。

予算総額六千三百五十四万円

本年度民生部の当初予算総額は約六三五四余円万である。之を各課別に見ると次の通である

厚生課　三三二六万九〇〇〇円
児童課　一五一二万四七〇〇円
保険課　一三九二万七〇〇〇円
世話課　一一二万九八〇〇円

厚生課関係

一、生活保護費　一三一九万五四〇〇円

本縣には現在生活保護法によつて保護を受けている人は約二五、〇〇〇人、八一〇〇世帯であるが、この保護に要する経費は約一億円である、この中縣費として負担すべき二二七九万二五〇〇円と指導、査察に要する経費四〇万二九〇〇円が即ち生活保護費として計上せられている予算である

二、民生事業費　一八七万一九〇〇円

現在一八四九名の民生委員が各市町村で活動して下さつているが、この民生事業費は民生委員および民生委員協議会の活動に対する経費補助である

三、消費生活指導費　三万円

消費生活協同組合法によつて設立されている組合は現在十七組合あるがこれを指導する経費および組合代表者会議等に要する経費である。

四、災害救助費　二十五万円

各種災害の多い本縣として災害救助法に基いて平素から災害時における救助計画を立て関係者を指導訓練し、また各市町村にも夫々計画を立てしめて備えなければならない。この二五万円は右に述べた事前指導に要する経費であつて、災害が実際に起つた時の救助に要する経費は特別会計に二二九万八五〇〇円計上されている。もちろん実際に災害が起きた場合はその程度に應じ予算追加を要する場合もあるわけであるが、茲にいう災害とは災害救助法で定められている相当大規模の災害をいうのである。

五、地方改善事業費　五二〇万円

新憲法が実施され基本的人権が確立されたことになつているが、実際問題として今なおこの基本的人権をじうりんする差別事象があとを絶たぬことはすこぶる遺憾なことである。そこで縣教育委員会は学校教育、社会教育によつてこの問題を解決すべく實善教育の名のもとに縣下にこれを実施して努力している。民生部は関係地区の改善向上を主として担当し他の部、課と協力して事業を実施しているのであり更に縣下に五十五名の厚生嘱託員を置いて縣の事業への協力差別事件が起つた時の指導、解決等に盡力を願つているのである地方改善事業費はこの関係地区の環境改善を市町村が行う場合の補助費五〇〇万円と厚生嘱託員の活動その他同和事業促進指導の経費二〇万円とを計上せるものである

六、海外引揚者援護費　七七万六四〇〇円

今なお未復員の方約一五〇〇名、一般邦人未引揚者約四〇〇名計一九〇〇名おられる。外地に抑留されている方の御身をしのび留守家族の方々の御心情を拝察し一日も速かに無事帰還されるよう祈つている次第であります。この経費はこれらの方々が引揚げてこられた時の應急援護費、未引揚者調査費及び縣営引揚者住宅整備費等に充てられるのである。

七、身体障害者福祉費　六七万六八〇〇円

本年四月一日から身体障害者福祉法が実施され、満十八歳以上の身体障害度の相当強い人（障害程度は法律で示されている）に適用されることゝなつた。これに伴つて今後相当多額の経費を要するのであるが当初予算には盲人に支給される白杖代（二五万円）及び縣立義肢製作所に要する経費（四二万六八〇〇円）が計上されている

縣立義肢製作所は和歌山市小松原通五丁目電車停留場西へ約一丁左側に設置されていて、専門の技術員がおり、どなたでも希望者に対し実費を以つて義肢の製作、修繕に應じている。生活保護法によつて保護を受けている人は市町村役場を通じて手続をすれば無料である

なお厚生課関係で、縣立引揚者住宅管理條例が設定され、縣下六ケ所に在るこの住宅管理について明文化せられまた使用料は月額坪当り二〇円と使用料條例で定められた。

海外発展に期待する大島

巡礼の熊野へ線路が伸び、躍急「くまの」が走つてこの地方の情緒が一変しました。「くまの」の車窓に写る海洋景観の最も印象的なものは大島であろう。

大島と云うところは明治二十年代から約五十年間、村の人口が二千を動いていない。それが終戦後三千に膨張した。こんなのは全國に例を見ないと思う。米國に濠州に南洋に満州に渡ることを恰も隣り村へ出かけるように氣軽に出かけた大島人である。その人達が皆帰つてきた。自然と人生を謳歌しておれる時代ならいゝが生活は深刻である。海洋景観の裏面にひそむ此の哀調、この現状を何とかして打破したい。

徳川三百年の鎖國政策は日本人を井戸の蛙に仕上げるのに大いに役立つた。同じ島國でも英國人とは違うと思う。いま大島の青年層の中にこの反省が波うつている。五十年の発展が消墓されてならないのである。戰に負けて鎖國時代にひとしい歴史の断層に再会したが村の青年も成年も世界観えの思慕が薄らいではいけないと思う。

京都大学の亜熱帯植物園、日本水産と大洋漁業と極洋捕鯨の各事業場、樫野の鰤落網、大島須江の突入網、日本最古の燈台、トルコ軍艦遭難記念碑、島の周遊等、こゝ大島は修学旅行に、行楽に、南紀州を代表する場所である。観光大島をはやしたてたいのであるが経済恐慌の低氣圧が停滞する間、迂濶に手を出せない。税金を期限迄に完納するようになり、心配なく主食配給を受けられるようになつたら健康な観光地として名乗りあげる。その時節を待とう。

それより村の経済復興である。温い大島は野菜と果樹の栽培に創意工夫を拂う余地が残されている。大漁不漁を、神様と酒にかぶせ、紀州沖より漁場がないものと思いこんでるのでは櫓櫂時代（原始時代）と変らぬ、九州も三陸も北海道も沖は一つである、かつて海外に雄飛したのを漁業遠征に向けたいと思う。問題は大島村だけのことでない、南紀沿岸漁村の共同更生である。

縣道を村道を農道を、と議論最中に、ある老人が「人道をどうするんだ」と叫んだ、いまごろ人道をうそぶく老人、これも村の点景である。（大島村長　古田傳一）

明るい暖かい看護の手を

ナイチンゲール記念座談会

五月十二日から十八日まで展開されたナイチンゲール祭記念行事中、十五日記念座談会が行われた出席者は、保健婦、助産婦、看護婦、医師、看護婦学校教師、高校教師、高校生徒、養護教員、一般婦人の各代表で、今村公衆衛生課長の司会で約二時間にわたり、看護業務の啓蒙、看護婦不足の対策看護婦に対する希望等の主題によつて進められたが、その要旨は次の通りである

助産婦、看護婦、保健婦の仕事は 非常に女性にふさわしい仕事であり女性の天職ということができるが、世間が余り認識していない、これは看護婦の労働條件をよくすること、他の團体ともつと連絡を密にすること等によつて啓蒙されると考えられるが、今回の行事中、高校女生徒を病院で実習させた事は非常に効果があつた、高校女生徒もこのような機会が與えられる事を望んでいる

現在、日本に看護婦保健婦が不足している

本縣でも一ケ年に百名の看護婦の補充が必要であり、又百七十名の保健婦が早急に必要であるが、新制度による資格取得は相当困難であるから、啓蒙と共に、学校の増設、資格を持ちながら遊んでいる者を職場につかせること、家庭と職場の生活を両立させること又保健婦においては、現在医大で行つている五ケ月の養成講習会に多数の生徒を獲得する必要がある

看護婦に対する希望は 看護婦としての自覚と正しい誇りを持ち、働く者の権利を守るように努めてほしい、品位を持ち清潔な感じを與えるように、又私生活は規則正しく、女らしいつつましさを持ちたい、宗教精神を持つことは必ず必要であり、暖か味明るさ、理性、機智に満ちた看護をしてほしい

結核の診断

結核の正しい診断にはツベルクリン検査とレントゲン検査が必要です。自分の感じや、ハタからの見かけで素人判断するのは危険です。

早期の治療

結核は早いうちに治療すれば、簡單に治るものです。初めの一年間が大切です。早く見付けて完全な治療を受けましよう。

診療所の一齊調査

衛生部医務課においては、縣下に病院、診療所（通称医院）個々について主要事項を記載した言わば医療機関の戸籍簿と言つた台帳を作成し、常時これを備え付け整備しています。

然しながら、この台帳も関係者からの手続もれのため、完全に整理することができず、事実と台帳との間には相当の相違が認められ、折角の貴重な台帳も不正確甚だしい状態であるので、医療の刷新を期待されているこの際急ぎ完全なものにする必要があります。

また医療機関の適正配置及び普遍化についての対策、さらに目下大きな懸案として注目されている、医療法第十三條のいわゆる四十八時間制限の適用等の諸問題を円滑に処理する前提として、医療機関整備計画を樹てることが当面の先決問題となつて表面化してきた今日、これが最も実情に合致した計画たらしめるためには、診療所の現状を具体的かつ正確に知るのでなければ、その目的を果すことが困難です。

以上のように診療所台帳の整備並びに医療機関整備計画の資料にするため、この度医療法第廿五條の規定を適用して診療所の実態を一斉に調査する事になりました。

報告様式その他については、所轄保健所から郡市医師会を通じ医師各位にお示しゝますが、この調査の趣旨を御賢察せられ格段の御協力をお願いしたいのである。

なお御報告後診療所に関する変更事項が生じた時は、所定の届出を履行されるよう併せて御留意ねがいます。（医務課）

イラツシヤイ紀州へ 映画を近く製作

新日本の観光と貿易の現況をフイルムに収めて廣く海外にまで紹介するため、今回毎日新聞社の企劃による記録映画〝新しき日本〟の一篇として、和歌山篇が目下関係者の手によつて立案されている。

これが完製されると、従前の名所や旧蹟は勿論のこと、文化日本の最も新しい動向が、一巻のうちに納められ、國内及び廣く海外にまでスクリーンを通じて宣傳せられるので、その効果に多大な期待がかけられるのである。

本縣では、この好機を利用して、最も新しい代表的な風光や物産を厳選し、観光と貿易の名声を挙げようと意氣込んでいる。

新漁業法のあらまし②

封建的な水産の歴史

根本的な改正なく推移

徳川封建性下において漁業は農業より分化の端緒がひらかれ封建領主の漁場領有を前提とし、その徴税機構たる浦浜制度を基調とする漁場の部落総有形態が廣汎に存在して居り、維新によつて漁場を領有とする支配機構は廃止されたが政府は従來の形を租税の形態でそのまゝこれを承認し漁場の現実的占有関係を承認すると共に、従來の慣行をそのまゝ続けさせて漁場秩序の混乱を避けた

明治八年政府は突如として、地租改正の成功の余勢をかつて漁業においても雑税の廃止、海面の國有を宣し、旧來の漁業に関する権利や慣行を否認し新たなる申請に基いて借区料徴収を主体とする新漁場制度の実施を強行したが、所詮上から行われた改革は漁民的立場の欠除により失敗に帰したのである。

明治十年代は日本が維新の混乱を一應切り抜けて、農村の犠牲において本格的な資本蓄積を強行した時代であるが漁業においても又この大きな潮流の中で波をかぶりつゝ宿命的な矛盾を育んで行つたのである。

漁業関係は旧慣の承継によつて、封鎖割拠的な入会関係が固定しており、はげしいデフレーションの影響により漁民の窮迫は濫獲、旧漁場秩序の侵犯となりかてて加えて没落農民の漁場割込み等があり漁場をめぐり血みどろの「水争い」的紛争は放置を許さぬ事態となり明治十九年「漁業組合準則」を設け慣行を主体とする封鎖的割拠主義はこゝに法的な裏付を得て固定化せられるに至つたのである。

明治三十四年現行漁業法が成立したがその内容は沿岸漁業秩序を規制する漁業権制度、沖合遠洋漁場秩序を規制する許可制度、資源保護のための漁業取締制度の三本の支柱によつて組み立てられているのであり、慣行の固定を基盤とし漁業権の先願主義によりこれに物権的な独占排他性を與え、その封建性の枠内に一切の矛盾をおしこめ、強力な官僚支配を打ちたてその後の諸般の情勢の変化、とくに漁船の動力化というような決定的な要因にもかゝわらず、今日までその根幹的部分については何らの改正をみず推移したのである。（漁政課—関守夫）（続）

縣政相談

実験用モルモット

質問はハガキ・秘書課弘報係宛・担当課で親切にお答えします

（問）四月二十一日の「縣民友」で医学実験用モルモットの飼育法その他の事が出て居りましたが、私も動物を飼育するのが楽しみで現在豚、にわとり、兎等を飼つて居ります、一度モルモツトを飼育したいと思いますのでその入手法及び販賣経路などお知らせ下さい。（出羽松次郎）

（答）入手先としては大阪市福島区上福島南一丁目二〇九埼玉医科動物生産組合大阪支所がよいと思います。一匹の値段は五〇〇瓦以上（特大）で四二〇円、四〇〇瓦内外（大）で三九〇円、三〇〇瓦内外（中大）で三一〇円、二五〇瓦内外（中）で二七五円、二〇〇瓦内外（小）で二三〇円位です。始めて飼われるのであれば三〇〇瓦内外が適当だと思います。送金されてもよいし、又自分で出かけて頂合なものを購入されてもよいでしよう。販路はワツセルワンのバイ毒反應実験に使用されるので各大学などの衛生研究室等です、本縣では需要は少く医大研究室、縣廳内衛生試験所ですが、むしろ東京などの大学研究機関の多い所は有望でしよう。

飼育は先に掲載されていましたが冬はワラ等の保温に梅雨期には巣箱の乾燥に注意し飼料にオカラ、ヌカ、草、野菜類をやればよいでしよう。（縣衛生研究所）

バッヂ、図案、ポスター募集

若さと健康の

成年に達した青年男女の健康検査受験者に誇りと自覚をもたせその前途を祝福し、縣民に健康の重要性と必要性を認識せしめるため縣民からバッヂ及びポスターの図案を募集します

バッヂ—大きさは任意で色彩を明記し、用紙は官製ハガキで住所、氏名、年令を明記すること

ポスター—配色は三色以内とし大きさは四ツ切で適当な個所に「和歌山縣の市町村名」及び「年月日」の文字を入れ裏面に住所、氏名、年令を明記すること

入選者—「知事賞」を贈呈し、一等入選作品をバッヂにして成人健康検査受検者に贈りポスターは縣下各方面に配布する

締切—五月卅一日まで〻原稿送付先は、和歌山市小松原通一丁目（和歌山郵便局区内）和歌山公衆衛生課成人健康検査係

24年度縣税滞納整理最終の月

（五月一日から五月三十一日まで）

縣税滞納の方へ

昭和二十四年度分縣税の整理期間はいよいよ本月限りとなりました。縣ではこの期間に一部未納の縣税を徹底して整理することにしました。一部の方が滞納されているためにその整理に非常な手数と費用を無駄使いしています。そのために外の方に御迷惑をかけてまことに相済まないと思います。未納の方の御事情は重々お察ししますが、とにかくこの際完納されるよう一層の協力をお願いします

和歌山縣

赤十字募金

世界平和と人類の幸福をはかり天災地変に赤十字社の縣民を守る

白い羽根募金運動

は五月一日より始りました、四〇〇万円の目標達成の爲縣民各位の絶大な御協力をお願い致します

赤十字募金和歌山縣委員会

参議院議員選挙には

必ず投票しましよう

六月四日は参議院議員通常選挙の投票日ですこの選挙は、直接國の政治に影響のある國会議員の選挙ですわたくしたちの一票が即ち國の政治をするわけです

慎重に候補者を判断して自分の信念に基いて立派な人を選ばねばなりません

棄権することは、最もいけないことで縣民の恥です

必ず投票いたしましよう

和歌山縣選挙管理委員会
市町村選挙管理委員会

生活は正しく明朗に
家庭の純潔こそ先決問題

純潔教育について
尾城丑太郎

この教育は家庭社会学校の三方面から相協力し密接な連絡を保つて実施しなければ成果を挙げることに甚だ困難であります。何といつても家庭において両親が充分な認識を持ち幼児時代から漸進的に、積極的に導びくことが最も必要であります。家庭においては先ず第一に生活を正しくし、明朗にし、家庭内の空氣をいつも純潔に保つよう工夫すべきでせう。

子供の成長に伴つて自然界の生物観察を行つたり、動植物の飼育、新聞、ラヂオ、映画等の中から問題を取り上げて研究したり、特に適当な機会をとらえて皆んなで時々話し合いを持ち討議し、自然に親しませることによつて自然を正しく認識させ、いつも両親はよき話し相手、よき助言者であるように心がくべきです

眞実を教えてやること
子供は両親を全智全能のものとし知識の源泉と信じています。未知の問題に対してはあこがれを持ち性に対しても無邪氣な質問を発します。こんな時親はこの問題にふれることを恐れたり、この問題から逃避してはなりません。無邪氣な質問に対し、これを拒否されたり、叱責されたりした場合はこれを罪悪視し、不浄視して再びこの問題に対しては親に質問したり、相談することをしなくなつてしまうでせう。また虚偽や默殺は親に対する信頼感を失い、不満をもたらすことになります。

求めること以上を与えてはならない
年令、性別、発育程度により求めることに差異があることは当然でありますがその際求める程度以上を与えることは却つて好奇心をそゝりその氣分を誘発し、逆効果を來すことがあります

隠蔽主義を捨てること
性の問題を密事と考えたり、不浄とする考へは性的無知にし、否んだ知識で曲解し、誤ちを起さすから決して隠蔽することなく、素直に正しく導き、生物学的意義を充分認識さすことが必要です。

露骨な言葉を避けること
性の指導には言葉を美化し、ベールをかぶせて婉曲に表現することが大切で、眞実と露骨とを区別しなければなりません。

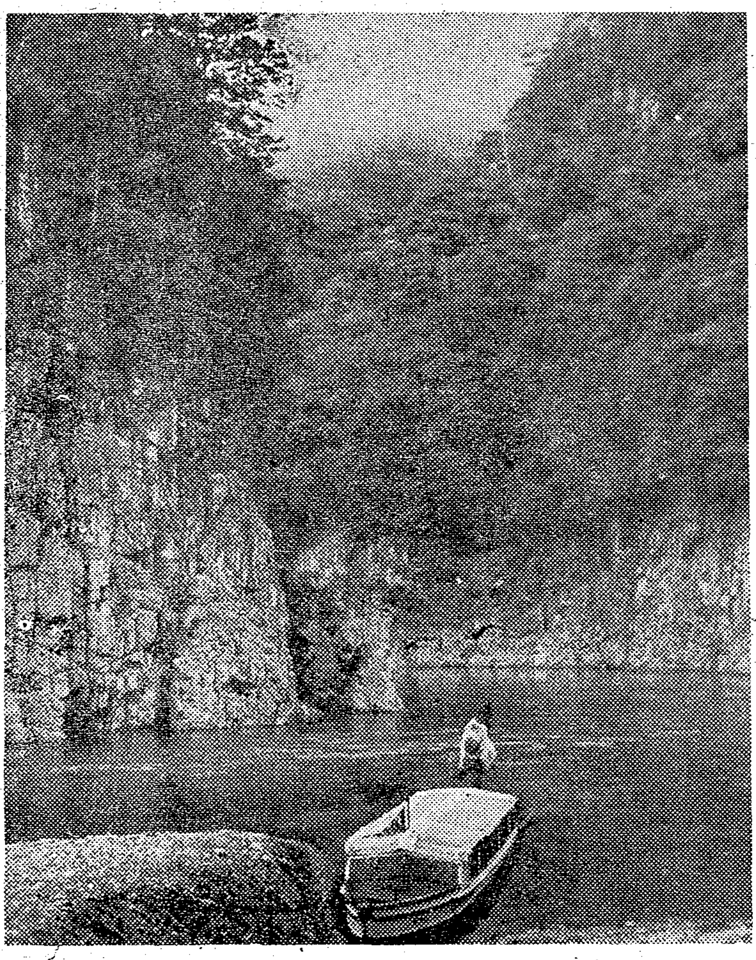
両親が正しい知識と豊富な認識を持つこと
貧しい経験による断定的意見をもつて導くことは最も危険であり、妥当性を欠き思わぬ誤ちを起すことがありますから充分研究して両親自らが豊かな認識をもつてこれに当らなければなりません。

厳粛な態度をもつて導くこと
興味本位におちいることなく性の厳粛性と生物学的意義をよく認識させることが必要です。

性的刺戟から成る可く遠ざけること
人間は全く性的刺戟の無い環境に生活することは不可能でありますが成るべくこれを避けるように努め遊び、交友、読み物等を充分選択することが大切です。

健全な娯楽と趣味を養うこと
充満した性のはけ口を健全な趣味と娯楽に轉換させ心身の練磨と情操の陶冶を図ることが必要です。

放任主義は社会悪に陥らす
多くの親は「放つておいても年頃になれば自然にわかる」といつてこの問題に触れることを避けようとするが、子供達は必ず友人や大人のみだらな雑談の中から否められた知識として覚えこむことになります。こうして何処からか拾つた知識が甚だ危険であり事故を引起す原因となるものですから注意しなければなりません。



観光地カメラ行脚 1

紀州観光の誇りをカメラによつて、本号から読者の皆さまに御紹介致しましよう……

瀞峡
「瀞はよいとこプロペラ船に乗つて…」と歌いたくなるような、何と言つても紀州観光の第一頁はプロペラ船から眺めた瀞峡の景観であります。新緑の候、山の緑が水に写つるのか水の青が山に映えるのか、一目まさにこれ翠緑の世界であり、神氣もせまる静寂の風景は俗塵を拂い浮世を忘れた詩と美の三まい境地でありますが瀞峡の美観は世界の旅人にとつて、永遠のあこがれであり久遠の思い出になることでしよう

（写眞　和歌山縣観光連盟提供）

（赤）（痢）に（赤）（信）（号）
官民一体の活動が大切

二月ごろから季節外れの発生をみせていた赤痢は既に本縣でも昨年同期に比べて二倍余に達し、全國各府縣も同傾向を傳え、東京などは既に昨年中発生数の二倍強の発生をみており、夏の多発期を前に漸く「赤痢流行」の兆をみせるに至つた。

終戦以來防疫対策の強化と衛生思想の向上によつて消化器傳染病は逐年減少を示しているが、赤痢だけは昨年から再び増加の傾向を示してきた。これは食糧事情の好轉による外食機会の増加とサルファ剤の使用による抵抗力をもつた菌株の出現によるものとみられるが何れにしても非文化病の絶滅は急務である。

縣では今回の全國的多発傾向に対処するため、厚生省の方針に從つて環境衛生、衛生教育、防疫活動の強化を中心に消化器傳染病（特に赤痢）防疫対策実施要領を定め赤痢など腸管傳染病の流行を未然に防ぐことになり、市町村はじめ関係者に指示した。

今回の対策は從來の姑息分派的な防疫活動を統合して官民一体の活動を円滑迅速に遂行する点に主眼を置いたもので、第一線にあつて初期防疫のカギをにぎる一般開業医及び一般民衆を防疫陣に糾合し同時に一般に対する衛生教育を徹底して赤痢予防國民運動を展開することゝなつた。

予防対策本部を縣下要所に設置
縣保健所及四市に赤痢予防対策本部をそれぞれ設置、情報、防疫、環境、食品、上下水道など各衛生担当者の総合防疫活動に手落ちのないよう態勢を整える一方保健所を中心として市町村、開業医、食品関係業者、青年團、婦人会、報導関係者の協力で一大國民運動を繰り展げる。

ハエの撲滅が第一
赤痢予防は先づハエの駆除から出発する。赤痢菌の傳播にはハエが主役を演じている場合が多い。患者の病室、便所から台所え、そして隣家の台所え菌を運ぶのである今の中にハエを絶やすことは左程困難でなく駆除薬剤の普及した此頃各家庭で徹底的にやつて欲しいハエさえ絶やしておけば対赤痢戦は先ず勝である。重要なのは飲料水である。近くに患者が出たとき井戸水の消毒は怠つてはならない、特に地方の農家は医療、上水施設がないだけにこれらの点に留意しハエの駆除井戸水の消毒に特に努力し、家内に下痢患者が出た時はすぐ医師に診せ家族感染を未然に防ぐことが最も大切である。

何にせよ赤痢防疫の根本対策の成否はすべて一般大衆の自覚と協力にかゝつており防疫陣の活動にたゆまぬ協力を願うや切なものがある。

予防法を適用
赤痢絶滅を期するため昨年二月他の数種傳染病と共に予防法の規定に基いて疑似症に対して傳染病の予防法を適用初期防疫の癌であつた疑似症患者の取扱を明確にし伏傳染源の絶滅を期したが、これによつて頻回性の粘血下痢患者が発生した場合は直ちにその世帯主は医師の診察を受けさせる義務があり、これを診た医師は即時町村役場及び保健所へ届出なければならない訳で眞性と同様の取扱いを受けることになつているから間違いのないようにしてほしい。

ブックガイド

〇〇〇〇

最近出版された本に中谷宇吉郎氏の二著がある。

中谷氏は北海道大学の教授で、雪や氷の研究では世界的に有名であり、また、科学知識の普及にその平明な文章を以て活躍されている優れたジアナリストでもある。

この暖かい和歌山と北海道の雪の話などはその結びつきがおかしいかも知れないが、そうした点を離れて"科学"というものについての中谷氏の考え方に直接にふれて見ることにしよう

1、「科学と社会」岩波新書青版

2、「霧退治—科学物語—」

どちらも岩波書店の発行、前著は昨年春の発行で、いささか古いが後者は本年三月発行されたばかりである。

まず中谷氏は「科学は良識のエッセンスである」といいまた「不可能を可能にするものが魔術であり可能を可能にするものが科学である」といつている。

私達はかつて科学に依つて「不可能を可能にせよ」と教えられて來たしかしながら本当の科学というものはそうしたものでは無く当然の事柄を合理的に分析し解釈することなのであつて、いわば健全な常識に外ならないものなのである「霧退治」の内で"線香花火"についてその美しい火花の説明をした後「みなさんは、今日原子爆弾さえできているのだから身のまわりにおこることなどはなんでもよくわかつていると思つているかも知れない。しかし、それはまちがいであつて、われわれのまわりには、まだよくわからないことがたくさんある……」と述べて居り、又同書の末尾に一本の霜柱でもじつと見つめることによつてどれ丈の科学知識が得られるかについて述べている。

私達は今日、敗戦後の日本は科学に依つて立直らねばならないと云う声を聞き、又それを痛感している。そして又、日本人の科学性の欠除を歎く声を多く聞く。野口神社の創立などその良い実例であろう。

ノーベル賞の受賞で新聞を賑わしたことに依つて日本の科学水準が世界的位置に達したなど云うて安心することは誤りであつて、私達はもつと身近かな周囲を科学的に見つめることに依つて一般の科学水準が本当に高まることを知るべきである。

この中谷氏の二著は分り易い言葉で実例を引いて、面白く読ませながら知らず知らずに科学の本当の在り方を示してくれるものとして是非一読をすゝめたい。尚前者は一般人向きに又後者は青少年向きに書かれており、特に後者は写眞や図解入りで分り易い美しい本である（縣立図書館長）

食用油の科学

油は鉱物、動物、植物性の三種に大別されるが、鉱物性油（石油揮発油など）を除いた動物、植物性油を普通食用油といつている。

一体に油にかぎらず脂肪分の多いものを攝ると、身体は暖まるがこれはその油が体内の各所で燃焼して熱源となり、その一部が骨の髄、もしくは皮下脂肪として皮膚の下にたくわえられ、保温の役割をはたすからである、では一体油にはどれくらいの栄養價があるかといえば

まず熱量は一グラムで他の栄養素の約二倍以上の九カロリーかりにこれを米とくらべると、米一〇〇グラム食べるかわりに油を約四〇グラムとれば、その熱量は同じになるわけである。しかも米やいもなどの炭水化物に比し容積が少ないため胃腸の負担も少くてすみ一方胃に停滞する時間も長い関係で腹もちがよい上に脂溶性であるビタミンA・D・Eの吸収にはぜひとも必要となるのである

使い方としては、一時に大量をとつてもかえつて消化器の不慣れのために、ヒマシ油同様に下痢の働きをする。

したがつて時にはこの油のかわりに牛骨を煮出した汁を調理に用いるとか、落花生和え、ゴマ和え、クルミ和えなどをつくつて毎日の料理に少量ずつでもとりいれるよう工夫すべきである。

縣民歌壇

蜿豆
水島凡史（二里ケ浜）

蜿豆の花も盛りの陽のまぶし麦笛吹きづ子等あらはれぬ

支柱越えなほも群がり咲く白き花蜿豆に陽は曇り來ぬ

手作りの蜿豆莢に妻がむく緑の玉のはねてころげる

この頃
森上隆（南部町）

往診の道の小溝にいくつもの蟾這い寄るをしばし見て行く

何故か心ひかるる道の辺に四五枚の葉をひらく桐の樹

庭隅に結ぶハツ手の黒き実は房ぶさとけざ雨にぬれ居り

近詠
宮井敦典（和市、南太田）

一すじに汝を愛して生き拔かむ固きおもひは人の知るなし

また熱き涙の故を君知らず去り給ふことの身を裂かるがに

かの遠くはつ／＼笑みし君にしていま逝き給ふことのかなしき

縣民詩抄

"幸なり"
津軽道誠

蕭々と雨の降る赤松の林
その寂寞に一羽の雉が飛び出した
おゝなにゝおどろきしか
その姿こそげに狂奔。
雉は翼をもつている強き翼を。
だが、驚きの瞬間には
枝は翼をつかまえ自由をうばい
しにものぐるいの目はくらむ
強き翼も用をなさない。
私はそれを見ていた、
数間とは離れぬ所で。
今もし私が
銃（とづつ）携え、小石もつならば
雉はもう……
私は難なくそれを殺していたろう
銃もち小石ある者の前には
生物も無生物に
生の世界も死の世界に変る。
あゝおそろしい銃もつ人間。
私にはよくも小石がなかつたものだ
銃がなかつたものだ。
私は今でも思う
"永久に銃はもつまい"
忘れようたつて忘れられぬ
小石なきあの日の喜び。
その日から
もう幾日。
あの雉はいずこかで健かにいよう
幸なり
銃なき人の國はその中にすむ鳥までも。

（西牟婁郡岩田村学生、十七才）

縣民俳壇

雑詠
坂東紀仙（海南）

木綿幣の巖にはりつく滝祭り

巖がくれ温泉煙がくれつゝじ燃ゆ

一木なき番所ケ鼻の春時雨

矢野奇一

花疲れまだ少しある執務かな

街頭放送なるもの
吉村守

街頭放送という代物は聴き方によると情緒もあるが、全くうるさい街の雑音に聴きとれることがある。大阪では、かなり問題になつたそうだが、和歌山市では大して表ざたになつていないようだ、ところが、不平がないでもない。あの音源たるスピーカーは、その据えどころを考えないといけない。バラック建ての屋根の上で、終日がなりたてられる、ある喫茶店や魚屋では來客との應対に大声でどならなければならないという。施設のときは燈台もとは、さして大きな音でないといつて納得させたそうだが、頭のてつぺんで、終日ほとんど同じアナウンスを、しかも、時には連日、オオムがえしにやられると、行人はともかく、拡声機の下に住む者は、たまつたものでない。蛍の光りかの曲をやつて、昔、村岡花子が呼びかけた式のサヨウナラを耳にしたときは全くやれやれと自分をとりもどすといつた氣持だ。筆者の事務所も近いので、頭痛膏でも、はりつけて仕事をしなければ氣が変になるこれは、ちつとも大げさな表現じやない、実際、スピーカーの下で呼吸をしていてみろ、といいたくなるのだ。

そちらも営業だろうが、こちらも営業なんだから、あまり無理のないいき方でありたい。そのために、拡声機を据える位置を考究してもらいたいものだ。

それから、アナウンスメントの問題、といつても技術面だが、レコード音楽は、今の処セレクションが良質のようで俗悪に流れていないのは何よりである。しかし、ソルベージの曲のように哀調ばかりでも困る、どちらかといえば、人心に明るさをあたえるものであつてほしい、そして豊富に準備されたい。

アナ嬢のアナウンスメントだが原稿は誰かが作つてあたえたのだから仕方がないとしても、正しい日本語（標準語）であることの研究が必要だし、ものによつては紀州弁で呼びかけるのも親しみがあつてよい。なにも、全國に放送される放送局のまねばかりでなくてもよいわけだ。上手なアナ嬢もいるが、怪しいアクセントや、とんでもない原稿の読みちがいをやつていて苦笑させることもあつたやはり、相当研究指導が必要だ（へやつているだろうが）音楽レコードを背音に使つて効果をあげるとか、大体、のべつ幕なしでなく一定の時間に放送の種目をきめる等のことが一般放送外の街頭放送として市民に愛され利用される一つのいき方じやないのだろうか、のべつ幕なし、同じことを連日やつているいることの藝のなさは、その原稿執筆者がマンネリズムであり、センスが足りず、怠慢の証拠でもある。同一アナウンスも角度を異にした放送にすれば、効果もあり、迷わくにもならなく、アナ嬢ケンタイさせず、聴手に鮮度を強くすると思う。（筆者文藝誌隊商同人）